

安全情報

2010年9月3日

非血縁者間骨髄採取認定施設
採取責任医師 各位

財団法人 骨髄移植推進財団
ドナー安全委員会

骨髄運搬バッグから骨髄液が漏出した事例

このたび、骨髄採取バッグから骨髄運搬バッグへの分注作業後に骨髄液が漏出していた事例が発生いたしました。原因は不明ですが、再発防止の観点から、ご一報いたします。

採取施設からの報告によれば以下のような概要です。

<経過>

全身麻酔下で骨髄バンクドナーから予定通り骨髄液を採取した後に発生した。
パルメディカル社が日本国内で販売している『ボーンマロウコレクションキット 型式 4R2107H』を用いて骨髄採取バッグから骨髄運搬バッグにフィルターを通して集めた後に、骨髄液が骨髄運搬バッグから漏出していることを発見した。
2つの骨髄運搬バッグに分けて収集していたが、もう一つのバッグは問題なく、発見後直ちにもう一つの別の運搬バッグ（3個目）に清潔な操作で骨髄液を移した。
漏出した量としては50ml以内と考えられる。採取量と漏出量を考慮し、 $1.8 \times 10^8 / \text{kg}$ 以上の骨髄有核細胞はあったので、追加採取は行なわなかった。
漏出していたバッグは開封後に特に衝撃を受けた事はない。
8月20日に同じキットで採取した際には特に問題なかった。

<原因>

漏出した原因等については販売メーカーに調査依頼中。

なお、同様の事象発生についてパルメディカル社へ確認を行なったが、バクスター社から承継して以降、このような報告は受けていないとの事。

<対策>

各施設におかれましては、再発防止の観点から以下の点に留意して頂きたく存じます。

骨髄採取バッグ、骨髄運搬バッグは慎重に取扱い、破損がないかどうか十分に確認してください。

使用中は、バッグの状況を常に確認してください。

以上をご確認の上、ご対応をお願い申し上げます。

財団法人骨髄移植推進財団
ドナー安全委員会 事務局

ドナーコーディネート部 折原、橋下

TEL 03-5280-2200

FAX 03-5283-5629